

平成29年4月28日

各位

会社名 株式会社プロネクサス
代表者名 代表取締役社長 上野剛史
(コード番号 7893 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員社長室長 大和田雅博
電話番号 03-5777-3145

システムとコンサルティングで開示業務プロセスを革新する新サービス 「WORKS-Core」本格提供開始のお知らせ

株式会社プロネクサス(以下「当社」)は、上場企業の開示実務支援システム「PRONEXUS WORKS」(プロネクサス・ワークス)の新たなオプションとして、支援領域をさらに拡張した新サービス「WORKS-Core」(ワークス・コア)(以下「本サービス」)の本格提供を開始いたしました。本サービスの提供により、当社は上場企業の開示実務の一層の効率化をサポートします。

記

1. 本サービス提供の背景と狙い

上場企業の開示業務は、XBRL データでの開示書類作成、IFRS (国際財務報告基準) の進展、英文開示の普及など、昨今ますます多様化、高度化しています。

当社は現在、直感的な操作で開示書類を作成できる独自開発の「PRONEXUS WORKS」を上場企業 2,200 社以上にご利用いただいております。またそのオプションサービスとして決算・開示連携システム「WORKS-i (ワークス・アイ)」を上場企業 550 社以上に導入いただき、財務諸表の組替等、開示データ作成業務の効率化に活用いただいております。

今回本格提供を開始した本サービスは、上場企業の決算から開示に至る業務プロセスの支援領域をさらに拡張し、システムとコンサルティングの両面から業務の整流化・効率化・正確化を推進します。大手企業などに年間を通して提供を行い、きわめて有用性が高いことから、このたび本格提供を開始いたしました。

2. 本サービスの特徴

●お客様の業務プロセスにおける問題点

決算業務には、各社固有の業務手順やノウハウがあり、多くの企業では決算用 Excel データを活用して運用されています。開示書類の作成においては、開示担当者が、その Excel データから開示すべき情報を一つ一つ選び出し、開示書類に転記します。このプロセスは属人的な繰り返し作業になりがちのため、業務の継続性と作業負荷の点で大きな課題となっています。

●Excel データの高度活用による業務効率化とエラーリスク低減

本サービスは、お客様のノウハウの集積とも言える決算用 Excel データを高度活用し、必要な情報を開示書類に表単位で自動反映するとともに、関連する数値の整合性チェックを可能にします。これにより、お客様は転記ミスなどのヒューマンエラーのリスクを大幅に低減することができます。

●お客様の業務実態に対応したコンサルティングと運用サポート

本サービス提供にあたっては、経理・開示実務に精通した専任スタッフが、お客様の業務手順の最適化をご提案するとともに、それに対応したシステムのセッティングと開示書類のフォーマット作成を行います。また、導入後も継続的に適切な運用が行われるようサポートいたします。

●Microsoft Office との連携(オプションサービス)

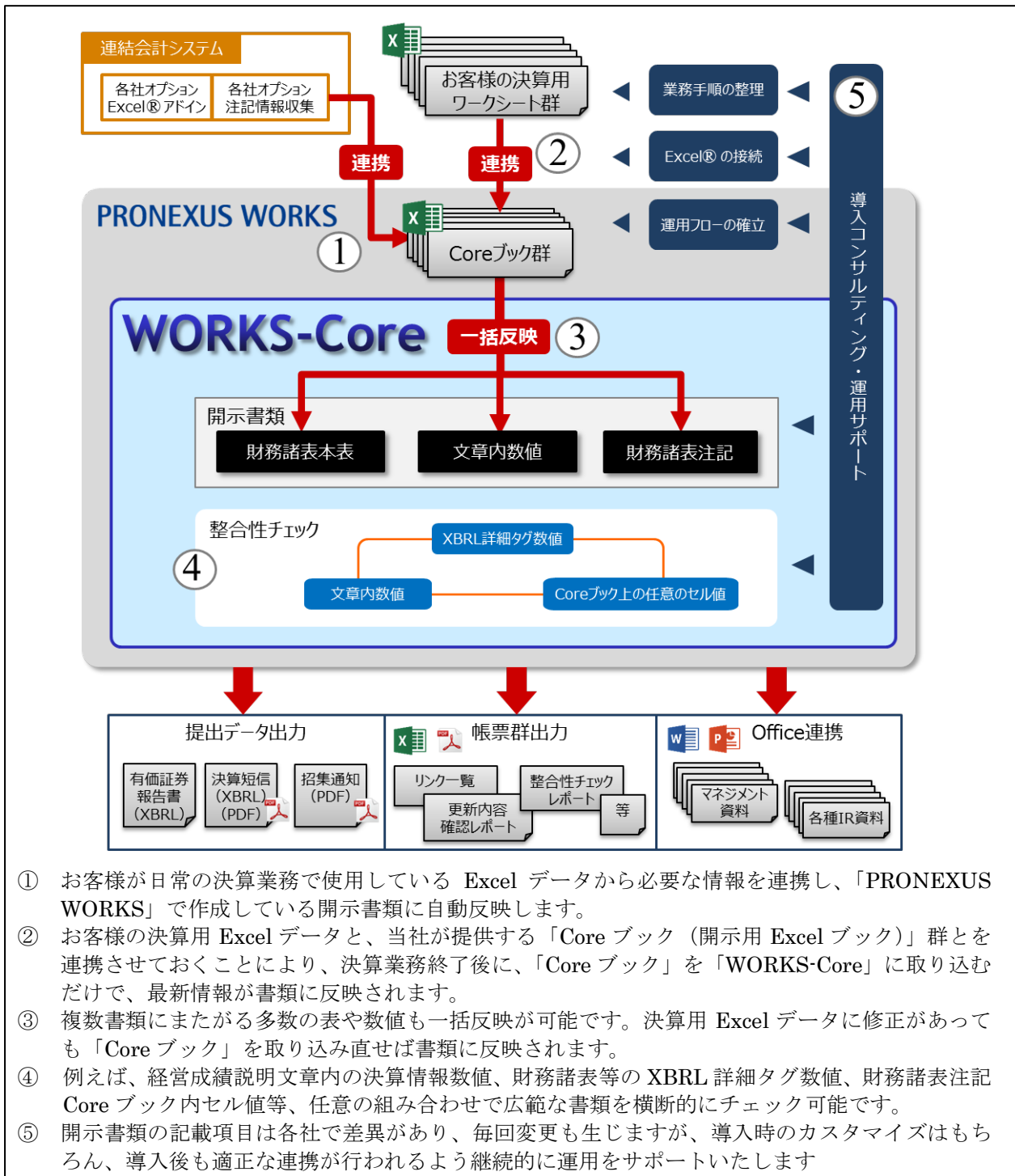
「PRONEXUS WORKS」を活用した開示書類作成業務の周辺には、決算情報を基礎とした取締役会報告資料・決算説明会資料等、Microsoft Word や PowerPoint を使用した書類作成業務も多く存在します。この点に鑑み、本サービスで活用・お預かりした決算・開示 Excel データをマスターデータとし、Word および PowerPoint からのリンク参照により手作業等による二重入力を排除し、最新決算情報への更新がワンタッチで可能な編集環境をご提供します。

●導入実績

本サービスは、IFRS 導入を契機に業務効率化を強く検討されるお客様、会計システムを含めた会計・開示プロセスにおけるシステム高度活用をご期待されるお客様などからご好評をいただいております。大手製造業、大手金融機関などを含む約 30 社にすでにご利用いただいております。

なお、当社も過去数決算期にわたり、本サービスと「WORKS-i」を併用し開示書類を作成しております。

<WORKS-Core サービス概要図>



※Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

■本サービスに関するお問合せ先

株式会社プロネクサス システムコンサルティング事業部 ^{ナカマダ} 中股・田中 (Tel.03-5777-3144)

以上